



# 清新二中だより

## 本校教育目標

- 1 豊かな心で、互いに敬愛できる人（敬愛）
- 2 進んで学び、深く考える人（知性）
- 3 健康で明るく、自ら鍛える人（健康）
- 4 責任を重んじ、勤労を尊ぶ人（責任）
- 5 礼儀を重んじ、他とよい関係を築く人（礼節）

## ハーベストムーンに寄せて

校長 西原 大

夏の酷暑から実りの秋が深まって参りました。今月は文化祭（「けやき祭」）が行われます。日々の学びや活動の成果を発表するこの行事は、“学びの収穫祭”として生徒たちの個性と創造力が存分に発揮される場となります。

今年度のスロ－ガンは『Memory, Melody, Harmony～響け僕らの交響曲～』。この言葉には、仲間との思い出（Memory）、一人ひとりの声の旋律（Melody）、そして心を合わせて生まれる調和（Harmony）への願いが込められています。合唱コンクールは、このスロ－ガンを体現する場。一人では奏でられない音楽が、仲間とともに響き合うことで、かけがえのない“交響曲”となっていくます。練習では、音程が合わずに悩んだり、意見がぶつかることもあるでしょう。しかし、そうした過程こそが、互いを理解し、尊重し合う力を育ててくれます。声を合わせるという行為は、単なる技術ではなく、心を通わせる営みです。誰かの声に耳を傾け、自分の声を重ねることで、ひとつの音楽が生まれる－その瞬間にこそ、合唱の本当の魅力があると私は思います。

そしてこの時期、夜空には「ハーベストムーン（中秋の名月）」が美しく輝きます。古来より、農作物の収穫に感謝する象徴として親しまれてきたこの月は、自然の恵みと人々の営みの調和を静かに語りかけてくれます。けやき祭もまた、日々の努力という“種まき”の結果として得られる“実り”を、仲間や保護者、地域の方々とは分かち合う場となるでしょう。

子どもたちが自らの力で創り上げたものを、誰かに見てもらい、認めてもらうことは、自己肯定感を育むうえで非常に重要です。けやき祭は、単なる発表の場ではなく、子どもたちが自分自身と向き合い、他者とつながる貴重な時間なのです。保護者の皆様、地域の皆様が生徒たちの努力と成長の軌跡をご覧いただければ幸いです。